



歯学研修セミナー

11月26日(土)午後4時より市内「ホテルスエヒロ」において、歯学研修セミナーが開催されました。野谷健治北海道大学大学院歯学研究科加齢歯科分野助教授をお迎えし「リジッド・パーシャルの臨床－保険診療での対応－」の演題でご講演いただきました。

「パーシャルデンチャーが欠損歯列のなかで出来るだけ動かない、いわゆるリジッドサポート様式を取ることが機能性・審美性・装着感および予後に望ましいことはすでに十分なコンセンサスがあります。ただし一方でリジッドサポートを達成しようとした時、自由診療のみでしか可能でないとした固定観念があるように思えるのも否定できません。確かに欠損補綴のリジッドサポートを厳密に追及し発揮させるには自由診療下となること

は多いのですが、全ての欠損歯列症例が相当するわけではありません。欠損形態によっては、設計に幾つかの改良点を加えることで保険診療下でも従来のパーシャルデンチャーに比べてよりリジッド性を有するパーシャルデンチャーを製作できると考えます。それには患者さんの性別・年齢・生活背景などを配慮して、当該症例の欠損状況や欠損部に加わる機能力の実態を読み、これに対応できるような設計、とりわけ基礎的な力学的な基盤に沿った形態をとることが必須となります。(抄録より)』

今回は「動きづらい義歯」のために必要な考え方・口腔の欠損状態の読み取り方・設計・実際の臨床例と非常に理解しやすくご講演いただき、すぐに保険診療で実践できる内容でした。

その後の懇親会、二次会でも次々と質問が続きましたが、それぞれに丁寧にお答え下さり、会員からはまた是非ご講演いただきたいという声があがっていました。

野谷先生におかれましては大変お忙しいなかご講演いただきありがとうございました。

(平 和隆記)

